

誘致工場から遺族の声

物価に追いつかぬ

しのび寄る生活苦

春闘も低額回答、低額賃上げが続いていますが、昭和三十九年の工場誘致のころは満足な賃上げもなく、賃上げ額もわからないうちの実態のなかで、そこで働いている遺族の声を聞いてみました。

三井が援助を...

毎日の生活に必要な資金は、毎年のことですが物価上昇にはとても追いつかず、生活は、火の車です。

せめて年金が...

三井物産の工場誘致は、昭和三十九年の春闘も、一万二千円から一万三千円程度で妥結し、前年よりも低いといわれていますが、私たちのところでは、その金額さえとても想像できません。

私たちの毎日の仕事の実態と生活も、当然春闘もありません。

四月二十五日に給料を受取つてみなければ、いくら上がるのか判りません。昨年は一日一律で百五十円でしたので、今年も同じくらいではないかと皆んなあきらめの気持ちです。

私たちが組織の方は、日給で三千四百円だと思われていますが、私の場合は三千五百円です。一、二百円上り下りしては、最低賃金ぎりぎりの線です。

三井物産の場合は、皆勤手当は一円もなく、交通費が千五百円、皆勤しても手取りは六万五千円ばかりです。この物価高のなかで生きていくだけでもむずかしいこと、鉄鋼や私鉄の賃金交渉も終り、

「官あつせん」と「徴用」という、それこそ奴隷同然の暴力の方法で強制された者たち。〇〇人と飛躍的に増加。これに対応して北海道の朝鮮人労働者も増え、一九四五(昭和二十)年六月には三万八、三六八人に達している。

また北炭においても、その数は昭和十四年度二、四四二八、十五年度四、〇八三八、十六年度六、四九三八、十七年度二万四、四八八、十八年度二万三、三七六、十九年度二万六、九四〇人となつて増加、北炭管内では一九四〇年五月の三、五八二、一九四一年六月には約三、四四一、四一三年と急増し、全坑夫数の約七三・八%を占めるに至った。二八・六%を占めるにいたった。彼ら朝鮮人坑夫は、その大部分が

公労協も炭労もストもなく、おたやかな春闘の幕切れでした。私たちの賃上げはというと、まったくお先真っ暗です。給料袋を手にしなくてはならぬ上がるの判らないし、毎年の昇給を考へてみるとせいぜい百円から百五十円ぐらいではないかと話合っています。

遺族のなかでは、一日三千円にもならない者もいるのです。普通に食っていくの資金がほしいと、つくづく思います。世間並みに大きな声で会社や三井物産に訴えたい気持ちでいっぱいなんです。

基本給が上らない

毎年の賃上げは本当にわずかで、それに五十歳を過ぎると基本給が上らないのです。

せめて交通費ぐらいは金額支給してもらいたいと思います。

随想「鳥と自然」を投稿された原守男さん、懐かしいです。

懐かしい仲間の顔

「みいけ」を読んで

松浦卓

ね。森田組舎長に、元宮浦朝日ヶ丘の通気検定をして、旧姓塚本卓が元気で頑張っていますとよろしくお伝えください。

COを守る会費納入が遅れて申しわけありません。二万円同封いたしました。二万円を守る会の会費に、一万円はカンパです。三池の皆さまの健康をお祈りいたします。

お便りとカンパ、ありがとうございます。

心からお礼を申し上げます。松浦卓さんは、川崎市高津区諏訪二五番地にお住いです。こんどもお元気で頑張ってください。

前略

早速ですが、先日送っていただいた写真の数々、ありがとうございます。

貴重な、しかもたいへん生々しい記録に「三池の闘争」の厳しさを、再度考えさせられたところで、社会の世情や、労働界のあり方など危惧するところもあり、いまだに「三池の闘争」をうたいました。

その間、さわついていた会場は一瞬静まりかえりました。おかげで私も無事終了、参加者がお互いに自信をもつことができたという、歌の評価も大いに……と自画自賛しているところです。祭典の模様は、後日写真をお送りします。こんどの組合員の皆様のご健康をお祈りして、お礼の言葉にさせていただきます。

全電通長崎電報分会 青年会議

後略

三池のたたかいを

開催し、中・高年齢層を中心に多くのひとびとに訴えてきました。職場には、いまなお多数の「三池闘争」の経験者があり、感慨深い思いで写真に接しております。

また、二十一日に開かれた県下全電通の文化祭で、私たちの分会は舞台に「三池闘争」のスライドを写しながら「地底の歌」をうたいました。

開催し、中・高年齢層を中心に多くのひとびとに訴えてきました。職場には、いまなお多数の「三池闘争」の経験者があり、感慨深い思いで写真に接しております。

また、二十一日に開かれた県下全電通の文化祭で、私たちの分会は舞台に「三池闘争」のスライドを写しながら「地底の歌」をうたいました。

その間、さわついていた会場は一瞬静まりかえりました。おかげで私も無事終了、参加者がお互いに自信をもつことができたという、歌の評価も大いに……と自画自賛しているところです。祭典の模様は、後日写真をお送りします。こんどの組合員の皆様のご健康をお祈りして、お礼の言葉にさせていただきます。

全電通長崎電報分会 青年会議

後略

北炭夕張大災害を追う

資料 その背景になにが... その四

昭和五十年の北炭夕張の災害、北炭の成立過程、そして北炭前史のひとつ「四人労働」について、ごく概略をたどってきましたが、今回は「朝鮮人労働」についてさぐってみたい。

×

×

炭鉱における朝鮮人労働者の最初の使用は明治末にさかのぼるが、例えば筑豊の諸炭鉱ではおおよそ大正末より相当数の朝鮮人坑

夫を使用している。その意図は「賃金と作業基準量で差別し、生産コストをひき下げる」とともに、民族的偏見によって労働者を分断し、労働運動の浸透を防止するにあった。「(昭和七年八月発生の)麻生における朝鮮人坑夫争議の要求項目も、ことごとく人権抑圧にたいする抗議を意味しないものはない」(永末

北炭では、一九一六(大正五)年から一九三〇年頃まで、夕張・万幸・若嶺の各炭で毎年延べ一〇〇〇人内外の朝鮮人坑夫が使用されている。そして今一度一九三九年以降、戦時体制の進行にともなう深刻な労働力不足の打開策として、短期労働者(勤労報国隊、女子・年少労働者)とともに、大量の朝鮮人労働者層がわが国の炭鉱に投入された。その総数

「植民地朝鮮人の取り扱いはずでにすべての点で日本人労働者よりはるかに以下であり、まして、田畑で働いている最中を家族にも知らせずにトラックでかつらつてきた朝鮮人には生命をすら考慮する必要がなかった」(中国人強行連行事件資料編さん委員会編『草の痕跡』一九六四年)。

「朝鮮人労働者は坑内の採炭・掘進等の重労働に従いながら先山やタコ部屋の様相からは生産至上主義とノルマ達成、民族的偏見に

よってシゴかれたり、また現場監督によって二十時間も働いて動かされることもあった。さらに、出坑から翌日の入坑時に至るまで、寮長・寮管理員らによって朝鮮人労働者はつき添われて徹底的に管理されたのであった。……賃金上の差別もはなはだしく、北炭夕張における一九四〇年当時の朝鮮人の日収平均賃金は二円五九銭で、日本人は二円七二銭と報告されているが、この数字はあくまでも形式的上の名目すぎなく、実質は請負制による支給賃金の横領、各種の天引き、あるいは送金・預金の名目で上から強制的に朝鮮人労働者の賃金は「預け」られたのであった」(金谷八「夕張炭鉱騒動」『流動』一九七八年一月号)。

学習会のお知らせ

裁判闘争の現状と展望

原告団消息

19日 原告団編集会議

26日 原告団、CO家族の会

29日 緒方務さん(新港作業所) 定年退職。

住所変更 加納トモ子さん(十

住所変更 田中 始さん(十

住所変更 荒尾市一坊区増永団地

七班の三へ。

19日 原告団編集会議

26日 原告団、CO家族の会

29日 緒方務さん(新港作業所) 定年退職。

住所変更 加納トモ子さん(十

住所変更 田中 始さん(十

住所変更 荒尾市一坊区増永団地

七班の三へ。

19日 原告団編集会議

26日 原告団、CO家族の会

29日 緒方務さん(新港作業所) 定年退職。

住所変更 加納トモ子さん(十

住所変更 田中 始さん(十

住所変更 荒尾市一坊区増永団地

七班の三へ。

19日 原告団編集会議

26日 原告団、CO家族の会

29日 緒方務さん(新港作業所) 定年退職。

住所変更 加納トモ子さん(十

住所変更 田中 始さん(十

住所変更 荒尾市一坊区増永団地

七班の三へ。

19日 原告団編集会議

26日 原告団、CO家族の会

29日 緒方務さん(新港作業所) 定年退職。

住所変更 加納トモ子さん(十

住所変更 田中 始さん(十

住所変更 荒尾市一坊区増永団地

七班の三へ。

19日 原告団編集会議

26日 原告団、CO家族の会

29日 緒方務さん(新港作業所) 定年退職。

住所変更 加納トモ子さん(十

住所変更 田中 始さん(十

住所変更 荒尾市一坊区増永団地

七班の三へ。

19日 原告団編集会議

26日 原告団、CO家族の会

29日 緒方務さん(新港作業所) 定年退職。

住所変更 加納トモ子さん(十

住所変更 田中 始さん(十

住所変更 荒尾市一坊区増永団地

七班の三へ。

19日 原告団編集会議

26日 原告団、CO家族の会

29日 緒方務さん(新港作業所) 定年退職。

住所変更 加納トモ子さん(十

住所変更 田中 始さん(十

住所変更 荒尾市一坊区増永団地

七班の三へ。